

平成 26 年度

事業報告

社会福祉法人有隣会
特別養護老人ホーム梅里苑
梅里苑短期入所生活介護事業所
梅里苑介護予防短期入所生活介護事業所
社会福祉法人有隣会居宅介護支援事業所

社会福祉法人有隣会事業報告

1. 理事会及び評議員会の開催

(1) 理事会

年 月 日	回 数	内 容	備 考
平成26年5月26日	第1回理事会	平成25年度決算報告及び事業報告、監査報告	
平成26年12月9日	第2回理事会	平成26年度梅里苑及び居宅介護支援事業所第1回補正 給与規程の一部改正 設備資金借入金返済について	
平成27年3月26日	第3回理事会	平成26年度梅里苑第2回補正 平成27年度有隣会事業計画、及び予算 給与規程一部変更について	

(2) 評議員会

年 月 日	回 数	内 容	備 考
平成26年5月26日	第1回評議員会	平成25年度決算報告及び事業報告、監査報告	
平成26年12月9日	第2回評議員会	平成26年度梅里苑及び居宅介護支援事業第1回補正 設備資金借入金返済 給与規程の一部改正	
平成27年3月26日	第3回評議員会	平成26年度梅里苑第2回補正 平成27年度有隣会事業計画及び予算 給与規程一部変更（処遇改善手当）について	

2. 研修会参加等による役職員の資質向上

年 月 日	研 修 名	内 容	備 考
平成26年6月5日	社会福祉法人指導監査説明会	指導監査説明及び、実務研修	
平成27年2月12日	社会福祉法人監事研修会	指導監査説明会及び、法人運営について	

当苑が提供するサービス

①食事 食事形態

()は昨年と比較
27年3月31現在

主食			副食		
経管栄養	12名(±0)	17%	並	15名(+5)	27%
ご飯	16名(+6)	18%	2刻み	4名(±0)	7%
粥	25名(+4)	37%	3刻み	14名(+3)	25%
ミキサー	16名(-4)	23%	ミキサー	22名(-6)	41%

食事摂取状況

	さくら	れんげ	さつき	ゆり	あやめ	すみれ	ぼたん
全介助	3名(-1)	5名(+2)	2名(-1)	2名	4名	2名(+1)	3名
一部介助	2名(+1)	1名	2名(-2)	1名	2名(+1)	1名(-1)	1名(-1)
自立	5名	4名	6名	3名	3名	3名	3名
鼻腔				2名			1名
胃ろう				2名	1名	4名	2名

行事食

4月	花見会 花見ドライブ	花見弁当 飲み物
5月	運動会	ケーキ 饅頭(家族分も) 飲み物
6月	昼食バイキング	寿司 素麺 お好みパン 笹巻き ふきの皮はぎ
7月	七夕 喫茶会	赤飯、魚の汐焼
8月	納涼祭 お盆 迎え火	おつまみ オードブル 飲み物 迎え団子
9月	敬老会 お経の会	敬老弁当 赤飯 饅頭 漬物
10月	長寿祭	模擬店 飲み物
12月	クリスマス忘年会 餅つき	オードブルバイキング クリスマスケーキ他 ぜんざい
1月	元旦 鏡開き 新年会 白寿米寿喜寿祝会	おせち料理 雑煮 ぜんざい 小豆ご飯 鯛の刺身祝膳
2月	節分 喫茶会	鯛の圧力煮他 和洋お菓子 飲み物
3月	ひな祭り お茶会 お経の会	ちらし寿司 おやつ 飲み物 桜餅 漬物

年間行事食は計画通りに提供できた。ユニット調理を計画するが、食中毒警報等で数回しか実施できなかった。ユニットでの炊飯は増え、より温かいご飯が提供でき喜ばれている。入居者の咀嚼や嚥下状態に合わせた食事形態や糖尿病、アレルギー等の食事管理が必要な方が増えているなか、「食べる楽しさ」「料理や食材の美味しさ」などに配慮しながら提供した。

②入浴・整容等

一般対象者 57名 特殊浴対象者 13名

入居者の希望を聞きながら、ユニット毎に入浴日・時間を調整して、週2回の入浴を実施した。

個々の身体機能に合わせ安全な入浴方法で、安心して入浴してもらえるように努めた。

介護者の負担軽減(腰痛予防)にストレッチャーとシャワーキャリーを導入した。

個々の希望による散髪(回数・髪形の自己決定) 月1回三刀屋理髪組合来苑

整容・毎食後の口腔ケアの徹底

布団乾燥・ゴキブリ・ダニ駆除を8月に実施

③健康管理

外来受診回数

	内科	外科	整形外科	脳外科	脳外科	泌尿器科	皮膚科	眼科	循環器	神内科	耳鼻科	婦人科	精神科	合計
平成記念病院	101		12			12	27	30	11	7	3	2		205
雲南市立病院	3	8		5		1						2	4	23
島根医大病院					1	2				1				4

歯科

	往診	受診	合計
足立歯科	5		5
上代歯科	9	5	14
ドレミ歯科	23		23

入院

	人数	延べ日数
平成記念病院	10	248
雲南市立病院	2	123
島根医大病院	1	56

死亡 11名(苑7名 病院4名)

ショート利用中に2名

退苑 1名(入院治療のため)

※ 健康診断とインフルエンザ予防接種は全員実施

今年度、インフルエンザ発症者は無かった。

平成記念病院の先生2名が嘱託医となられ、受診回数が減った。

④各委員会

排泄委員

		さくら	れんげ	さつき	ゆり	あやめ	すみれ	ぼたん	合計
トイレ	自立		1名	1名		1名		1名	4名(+2)
	介助	3名	1名			1名			5名(±0)
ポータブルトイレ	自立			2名					2名(±0)
	介助		1名		1名		1名		3名(-3)
おむつ (トイレ・PTイレ)	常時	7名	4名	4名	6名	5名	6名	7名	39名(-2)
	夜間のみ		2名	2名		1名	3名	1名	9名(+5)
	PTイレ介助	(6名)	(3名)	(4名)	(2名)	(3名)	(5名)	(4名)	27名(+1)
パルン (トイレ・PTイレ)	おしめ併用		1名	1名	3名	2名		1名	8名(-1)
	PTイレ介助		(1名)		(1名)	(2名)			4名(-2)

必要に応じて尿測を行い、その結果に合わせたパット使用や交換時間を各ユニットで随時検討を行い、皮膚トラブルも少なくなった。下剤の調整や食物繊維含有食品を取り入れ、排便ケアも看護師と連携を行ないながら取り組んだ。また、尿意や便意がない方もできる限りトイレやポータブルトイレでの排泄を促した。

新聞委員

年2回発行(7月・1月)

今年度より印刷業者に構成を依頼し発行する。

入居者の苑での生活をユニット毎に記載し、家族の方々に知って頂くことができた。

褥瘡・感染症委員

感染症

ノロウイルス、インフルエンザの時期には委員を中心に、職員、面会者へ張り紙等で予防対策の周知徹底を行い、入居者の発症はなかった。職員2名がインフルエンザを発症したが早めに対処し蔓延しなかった。

MRSA、B型、C型肝炎の保菌者はマニュアルに沿った対応で予防に努めている。

褥瘡

皮膚観察、体位変換、福祉用具等の活用で予防に努め、褥瘡ができた方はなかった。

身体拘束廃止委員

2名の4本柵使用で1名が廃止となり、他1名は現在も身体拘束廃止に向け取り組んでいる。

リスクマネジメント委員

転倒、ベッドからのずり落ちの割合が多く、居室での事故対策として、センサー設置が多くなった。職員サイドが原因の事故は昨年と比べると減少しているが、同じ事故が繰り返し起きている内容もあるので、事故検討会での対策を活かし、職員一人一人が意識を持ち事故防止に繋げたい。

研修委員

苑内研修内容	講師	参加人数
新人研修	苑長 看護師 介護支援専門員 介護主任 リーダー	3名
人権擁護・身体拘束廃止	あいサンホーム施設長 松本憲二郎	21名
感染症対策	雲南保健所 常松・西山・熱田	20名
腰痛予防	西藤将人	20名
医療講習会	平成記念病院院長 陶山紳一朗	25名
救命講習会	雲南消防署 伊藤大輔	24名
排泄用品の使用方法	ハグゾウ 笠田やすよ	12名

※老施協主催の苑外研修に8名参加

高齢、重度化で医療管理の方も増えている中、研修を通してスキルアップを図り、入居者に安全で安心した生活を送って頂けるようにしたい。

接遇についても昨年同様目標設定を行い取り組んだが、全職員の意識改革には繋がっていない。

信頼できる施設組織を築くことで、利用したい施設として今後も継続して取り組んでいきたい。

医療的ケア対策推進委員

口腔内の痰吸引、経管栄養が必要になった入居者に対して、看護職員と介護職員の連携による医療的ケアを実施し、体制、手順等の検討と見直しを随時行い安全に対応ができた。

重度化に伴い、痰吸引が必要な方も増えているので状態の観察を重視していきたい。

H26年度対象延べ人数(口腔内痰吸引18名・胃ろうによる経管栄養12名・経鼻経管栄養3名)

地域交流委員

例年通り、絵手紙、納涼会、餅つき、笹巻、三刀屋高校JRCの交流ボランティアや、掃除、布きり等の奉仕ボランティアの受け入れを随時行い地域との交流をした。また、三刀屋高校の学園祭にも招待され参加した。定期的にゴミ袋や切布等を持参される方も増え、活用させてもらい助かっている。

新たなボランティアの受け入れや、多目的ホールの活用を働きかけて地域との交流を充実させていきたい。

⑤相談・援助

苦情4件

職員の接遇(2件)・苑内の喫煙・実習生から指摘

苦情内容について検討を行い、全職員に周知し注意喚起した。

⑥機能訓練

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	54	56	97	55	84	64	81	75	78	73	68	54

平成記念病院の理学療法士(毎月2回)に個々の状態に合わせた機能訓練を実施してもらった。苑の機能訓練指導員がユニットを廻り、起立訓練、歩行訓練、関節可動域訓練を実施しているが看護と兼務のため十分な対応ができなかった。

⑦クラブ活動 ()は昨年と比較

	参加人数	回数	指導者
習字クラブ	75名	9回	福間 昇・職員
園芸クラブ	各ユニットで開催	2回	職員
いきいき活動	78名	2回	ボランティア
お経の会	74名	2回	職員
絵手紙の会	54名	6回	三刀屋絵手紙クラブ
音楽療法	194名	12回	妹尾明香

習字クラブ 先生の都合で実施されなかった月もあった。新たに入居された方の参加もあり、皆さんお手本を見ながら一筆一筆、真剣に書かれていた。

園芸クラブ 寄せ植えやフラワーアレンジを職員と一緒にいった。各ユニットでも中庭やリビング等に季節の花や観葉植物で季節を感じて頂けるようにしている。

いきいき活動 ボランティアによるピアノ演奏や日本舞踊で入居者の皆さんに喜んで頂けましたが、回数も少なく計画通りにできなかった。

絵手紙の会 三刀屋絵手紙クラブのボランティアの皆さんの協力で、毎回賑やかに実施できた。季節の花や野菜を題材に、会話を楽しみながら色彩豊かに描かれている。1階廊下に展示している。

お経の会 彼岸に福寿会を兼ねて、計画通りに実施した。お経を全員で唱えた後にお茶会をしながら入居者の要望等を聞いた。

音楽療法 計画通り毎月開催できた。事前に歌いたい曲名を入居者に聞き、軽楽器を持ち曲に合わせてリズムをとり、先生が一人一人と触れ合って和やかな一時を過ごされている。ユニット毎での開催のため参加人数も多い。

より楽しく充実した生活を送って頂けるように要望を聞きながら活動を行い、また地域との繋がりを深め、多目的ホールの活用を働きかけて行きたい。

⑧家族とのかかわり

面会・外出・外泊状況(家族)

		回数	備考
面会状況	最少	3回	家族の宿泊はなし
	最多	226回	
	平均	46回	
外出・外泊状況	盆	10名	外泊6名・外出4名
	正月	3名	外泊3名
	その他	13名	外泊2名・外出11名

5月運動会、9月長寿祭は家族会を兼ねて家族にも行事に参加して頂いた。

ドライブ・外出状況(施設)

行先	参加人数	備考
花見ドライブ	58名	4月花見
雲南市内	39名	トロッコ列車・買い物・美容院・自宅
雲南市外	0名	

職員の体制により外出する時間も限られているが、一人でも多くの皆さんに地域へ出掛けて喜んで頂けるように、各ユニットで企画している。

誕生会

誕生会食35組 延べ人数57名

家族の方と一緒に過ごされることを待ち望んでいる方が多く、楽しみにしておられる。

苑からフラワーアレンジをプレゼントして頂く。

⑨防火管理

避難訓練 避難手順の講習会6月・消防署立会いのもと避難訓練3月実施
消火訓練 避難訓練時1回実施
消防用設備点検 業者による法定点検2回実施(5月・12月)
通報訓練 2回実施(9月・2月)

その他、以下の項目を実施

労働安全衛生について →職員の健康診断・検便・インフルエンザ予防接種
腰痛予防対策と感染症予防対策について苑内研修を実施
職場内の安全衛生点検を随時実施

介護サービス以外のサービス

栄養相談 0回
入浴サービス 0回
介護用品斡旋 13名利用(口腔スポンジ・靴等)
介護用品貸し出し 0回
輸送車貸し出し 11回
介護者教室 0回

会議

職員会議 2回
ユニットリーダー会議 10回
合同ミーティング 52回(毎週)
ユニット会議 各ユニットで随時
サービス担当者会議 各ユニットで開催133回(家族・本人出席47回)

施設サービスの向上を目的に、各会議がほぼ計画通りにできた。
合同ミーティングは毎週実施し、各ユニット・職種間の情報を連絡し周知するようにした。

研修・実習生受け入れ状況

	人数	日数
トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校実習	2名	15日
	2名	20日
	1名	10日
三刀屋高校インターンシップ	2名	3日
ホームケアヘルパー研修	4名	33日
「夢」発見ウィーク 雲南市中学校職場体験学習	2名	3日
出雲養護学校	1名	15日
合計	14名	99日

学生より実習指導に対して指摘があった。報告を基に検討を行い、職員へ周知徹底をする。27年度から実習担当を2名から5名に増員する。研修、実習体制の見直しを行い、介護の専門職として意識を高め、研修を通して介護の仕事に関心を持って頂けるような指導を心がけていきたい。

平成26年度 短期入所生活介護事業所 利用状況

介護度別（単位：人：介護度）

	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	男	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
	女	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	6
	計	0	0	1	2	2	2	1	1	0	0	0	0	9
要支援 2	男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	1	2	1	1	1	1	2	1	1	2	1	14
	計	0	1	2	1	2	1	1	2	1	1	2	1	15
要介護 1	男	0	1	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1	14
	女	4	3	2	4	6	4	4	7	6	3	2	3	48
	計	4	4	4	6	7	5	5	8	7	5	3	4	62
要介護 2	男	3	2	2	2	1	1	0	0	3	3	3	3	23
	女	9	12	10	9	7	9	6	6	8	6	7	7	96
	計	12	14	12	11	8	10	6	6	11	9	10	10	119
要介護 3	男	4	3	2	4	4	3	4	5	6	6	2	4	47
	女	9	7	5	5	5	5	7	6	6	7	5	5	72
	計	13	10	7	9	9	8	11	11	12	13	7	9	119
要介護 4	男	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	5
	女	3	1	3	4	6	5	7	5	7	5	4	4	54
	計	4	1	3	5	7	5	7	5	7	5	5	5	59
要介護 5	男	2	3	2	1	2	2	2	3	3	2	2	3	27
	女	1	5	3	3	2	3	2	2	3	4	3	3	34
	計	3	8	5	4	4	5	4	5	6	6	5	6	61
合計	男	10	9	8	11	11	8	7	9	13	13	9	12	120
	女	26	29	26	27	28	28	28	29	31	26	23	23	324
	計	36	38	34	38	39	36	35	38	44	39	32	35	444

（単位：人：日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	36	38	34	38	39	36	35	38	44	39	32	35	444
延べ人数	250	230	224	245	240	226	242	220	235	250	198	222	2782

- ・稼働率…95.27%
- ・保険内延人数…2762人
- ・保険外延人数…9人
- ・保険外延日数…20日
- ・空きベッド利用状況…172日
- ※短期ベッドのみの稼働率…88.7%
- ・公費適用、法人減免適用なし

過去5年間の推移

年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
人数	417名	662名	494名	429名	432名
延べ人数	2,872名	2,864名	2,940名	2,865名	2,913名

平成26年度

社会福祉法人有隣会居宅介護支援事業所事業報告

① 事業所の状況

介護給付費件数は前年度より、減少した。理由として、新規の方が少なく、亡くなられた方利用者の重度化に伴い施設入所になった方、要介護から要支援になられ、介護の人が減少した。予防介護も今年度も多く受けた。

② 情報提供活動

H27年4月からの改正に伴い、利用者、家族への情報提供を行った。新規事業所は見学会等に出掛けて、情報を得た。

③ 職員資質向上のための研修会

介護支援専門員の資質向上を図る為に、各研修会に参加した。

月日	研修名	場所
5月16日	雲南地域介護サービス事業管理者連絡会・居宅介護支援部会総会	三刀屋健康福祉センター
5月30日	雲南地域介護サービス事業管理者連絡会	雲南広域連合
7月1日	口みまつわるいろんな話、掛合診療所歯科吉野綾Dr	雲南市立病院
7月11日	雲南地域介護サービス事業所管理者連絡会居宅介護支援部会	雲南広域連合
9月1日	介護保険制度の改正の主な内容について	三刀屋健康福祉センター
9月1日	雲南地域に必要とされる施設、サービスについて	三刀屋健康福祉センター
10月10日	平成26年度第2回情報交換会	サンワーク木次
10月16日	平成26年度雲南圏域在宅医療連携推進研修会	雲南市立病院
10月24日	地域ケア会議（木次・三刀屋圏域）	勤労青少年ホーム
11月12日	介護認定訪問調査員現任研修会	木次チェリブアホール
11月14日	しまね福祉フェア	三刀屋町体育館アスバル
11月22日	認知症新時代・いきいき暮すために	出雲市民会館
12月11日	雲南地域介護サービス事業管理者連絡会	木次総合センター
12月16日	雲南地域介護支援専門員協会・スキルアップ研修会	三刀屋福祉センター
12月25日	H26年度キャラバン・メイト連絡会	三刀屋福祉センター
1月15日	平成26年度第3回情報交換会	サンワーク木次
2月19日	平成26年度雲南ケア会議	木次チェリバホール
2月28日	難病医療従事者研修会	三刀屋農村環境メインセンター
3月12日	雲南介護支援専門員協会の研修会	三刀屋福祉センター
3月23日	平成26年度介護サービス事業者集団指導	朱鷺会館

苑内研修及び職員会議

月日	研修名
4月17日	腰痛予防
6月9日	感染予防（高齢者施設における感染予防・正しい知識で結核予防）
8月25日	人権擁護・身体拘束について 特養施設長松本憲二郎
1月27日	医療について 平成記念病院院長陶山紳一朗先生
3月6日	救急救命講習・AED 雲南消防署
2月26日	職員会議・平成27年度事業計画

④ 介護給付費件数

サービス提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	43	43	43	45	44	44	43	40	39	36	39	40	499

⑤ 予防給付件数

サービス提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	8	7	9	9	8	9	9	9	10	11	10	11	110

⑥ 訪問調査件数

調査実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	3	4	4	2	4	3	3	4	4	3	3	39

⑦ 居宅介護支援事業所業務状況

- 訪問調査の実施。
- 認定申請代行。
- 契約・アセスメントの実施。
- ケアプラン原案作成。
- ケアプラン作成支援。
- 介護予防プラン作成受託。
- 事業者・利用者等への連絡調整。
- モニタリング。
- サービス担当者会議実施。
- 給付管理業務。
- 相談・苦情受付・対応。
- 緊急時対応。
- 介護保険相談・対応等
- 制度改正内容の情報提供

⑧ 自己評価の実施

自己評価表の作成。（雲南地域居宅介護支援サービス評価にて実施）
利用者、家族へのアンケートを今年度は実施しなかった。内容等検討して、来年度は実施予定。

⑨ 健康診断を平成27年3月に実施。